



## これからの人生

校長 宮川佳代子

下の歌詞は、3年生が卒業記念合唱で歌った「正解」という曲の最後の部分です。

この曲は野田洋次郎さんが自身の18歳だった頃を思い出しながら制作した楽曲なの

ああ 答えがある問いばかりを 教わってきたよ  
そのせいだろうか 僕たちが知りたかったのは  
いつも正解など大人も知らない

喜びが溢れて止まらない 夜の眠り方  
悔しさで滲んだ 心の傷の治し方  
傷ついた友の 励まし方

あなたとはじめて怒鳴り合った日 あとで聞いた  
よ 君は笑っていたと 想いの伝え方がわからない  
僕の心 君は無理矢理こじ開けたの

ああ 答えがある問いばかりを 教わってきたよ  
だけど明日からは僕だけの正解をいざ 探しにゆ  
くんだ また逢う日まで

次の空欄に当てはまる言葉を  
書き入れなさい ここでの最後の問い

「君のいない 明日からの日々を  
僕は／私は きっと □□□□□□□□□□□□  
□□□□□□」

制限時間は あなたのこれからの人生  
解答用紙は あなたのこれからの人生  
答え合わせの 時に私はもういない  
だから 採点基準は あなたのこれからの人生

「よーい、はじめ」

RADWIMPS 「正解」より

だそう。そして、NHK 主催のイベントである「18祭」で披露されました。18歳の素直な気持ちが歌われていて、共感する若者も多いのだと思います。素敵なお曲です。

確かに、人生を歩んでいく中で、どうすれば良いのだろうと思悩むことは多いし、正解は何なのかと知りたくなります。でも、やはりそんな時も、自分で考え、決断し、進んでいくしかないのです。そして、その責任も自分にあるのです。だからこそ、その時に、自分も周りも幸せになれる道に進んでいけるよう判断するために勉強は必要だと思います。

言葉を知り、表現する力をつけ、法則ややり方を使いながら課題を解き、自然の法則や人間が歩んできた歴史や社会を知り、他の人の思いや考えを聞き、人間としてあるべき姿を学ぶには、やはりしっかりと今、学習しなくてはならないと思うのです。

神林中学校の教育目標である「学ぶ心 思う心 挑む心」はまさにこれからの人生を生きていく中で重要な3つの心を示しています。どんなものからでも学ぶ謙虚な心や誰一人悲しい思いをさせないように考える心、そして、自分にはできないと諦めずどんなことにも挑んでいく強い心を持ち続ける事が大切だと思います。

4月から新年度です。皆さんにとって新しい春が、良いスタートでありますように。



## 第4回 卒業証書授与式

令和5年3月6日、第4回神林中学校卒業証書授与式が挙行されました。

最高の卒業式日和の中、3年生59名は、立派な姿で神林中学校を卒業していきました。卒業証書授与では、全員が大きな声で返事をし、素晴らしい姿を見せてくれました。また、卒業記念合唱は「正解」という曲を思いを込めて歌いました。卒業生の心が伝わってくる素敵な合唱でした。



### 送辞

冬の名残もまだ去りやらぬ時期ですが、日一日と温かい春へと近づいていく兆しが見えます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。このような佳き日に、五十九名の皆様のご卒業されること、在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

今、卒業生の皆さんの心にはたくさんの思い出が浮かんでいることと思います。皆さんが入学してから、今日この瞬間まで、六百四日もの時をこの神林中学校で過ごしました。長いと感じますか。それとも短いと感じますか。この六百四日の中で皆さんは色々な人と出会い、たくさんのことを体験し、十人十色の思い出を作ってきたと思います。私達在校生も卒業生の皆さんとの思い出が、ひとつひとつ鮮明によみがえると共にあらためて卒業生の皆さんの存在の大きさを感じ、今日まで温かく私達を見守ってくださったことに感謝の気持ちを新たにしています。

今年度、皆さんは最高学年として学校行事、部活動、委員会活動など様々な場面で私達を引っ張ってきてくださいました。中でも、部活動では初めてのことばかりで緊張していた私達に優しく声をかけてくださり、困っているときにはアドバイスをしてくださいました。マナーの面でも挨拶や返事などたくさんのことを学ばせていただきました。皆さんはとても親しみやすく頼りになり、すぐに打ち解けることができました。また、委員会活動では、仕事の内容などを詳しく教えてくださったおかげで、皆すぐに仕事に慣れることができましたと思います。

今こうして振り返ってみますと、先輩方は常に私達のお手本でありまた、いつでも頼れる仲間のような存在でもあったと感じます。そんな皆さんも今日卒業します。今まで本当にありがとうございました。そして、今度は私達が先輩方が作ってきた伝統を引き継ぎ、更に元気で活気に満ちた神林中学校にしていきます。

これから皆さんは自らが選んだ道に進みます。時につまづいてしまうことがあるかもしれません。しかし、神林中学校で多くの困難を乗り越えてきた先輩方なら、力強く前に進まれることと信じております。

最後になりますが、卒業生の皆様ますます光り輝き、それぞれの道でご活躍されることを祈願して送辞とさせていただきます。

令和五年三月六日 在校生代表 内山 友喜

## 答辞

寒さ厳しい季節が終わりを告げ、春の訪れが感じられる季節になりました。この佳き日に、私たち五十九名は神林中学校を卒業します。保護者の皆様、ご来賓の皆様、本日はお忙しい中、私たちの卒業式にご出席くださり、本当にありがとうございます。

三年前の春、ピカピカの制服に身を包み、これから始まる新しい生活に不安を抱きつつも、期待に胸を膨らませ、中学校生活のスタートを切りました。小学校では十数人だった仲間も五十九人に増え、何をするにも新鮮な中学校生活が、楽しくて仕方ありませんでした。しかし、私たちが入学して間もなく、新型コロナウイルス感染症の影響で休校になり、楽しみだった中学校生活が大きな不安に包まれました。世の中全体にそんな不安が広がる中、登校日に感じた仲間の温かさを今でも覚えています。みんなといればいつも明るく振る舞うことができ、なんて素敵なお仲間だと強く感じました。

二年生になってからは、先輩方の逞しい姿に圧倒されながら、「次は私たちが」と必死に背中を追い続けました。行事の度に先輩方の凄さを知り、活動の中で仲間と協力することの楽しさ、努力することの大切さを学び、大きく成長することができました。

そして最高学年として迎えた今年、今までは背中を追う側だった私たちが、今度は自らの姿で三年生としてあるべき姿を示す立場になりました。学校行事から普段の学校生活まで、その一つ一つを、胸を張って誇れるものにしようとして全力で取り組みました。思うように活動ができないコロナ禍にあっても、今できる最高のものを作ろうと工夫を凝らし、この瞬間を楽しもうと一丸となって取り組みました。学校全体を盛り上げ、自分たちも楽しみ、さらに全校のお手本となれるよう、私たちはひたすらに突っ走ってきました。

在校生の皆さん、いつも私たち三年生を信じて、ついてきてくれてありがとうございました。皆さんの協力のお陰で、たくさんの思い出を作ることができました。学年が上がると背負う責任も増えることと思いますが、先生方を信頼し、仲間同士で支え合い、素敵なお神林中学校を作り上げていってください。

とにかく楽しかった中学校生活。こんなふうに充実した学校生活を送ることができたのは、たくさんの人の支えがあったからだと思います。生活面、学習面、そして精神面のケアまで、様々な場面で多くの人から支えていただきました。特に先生方は、くじけそうになったとき、いつも私たちが安心できる場所を作ってくださいました。いただいた言葉の一つひとつが、前を向く力になりました。先生方から教わったことを胸に、これから新しい道を進んでいきます。

そして、この三年間私たちを支え、応援してくれた家族にも、この場を借りて感謝の気持ちを伝えたいです。どんなときも私たちの一番の味方で、悩みを相談すればいつでも寄り添って話を聞いてくれた父や母の存在は、誰よりも頼もしかった。私たちはそれに甘え、たくさん我儘を言ってしまいました。素直になれない私たちを、大きな愛で受け止めてくれてありがとう。まだまだたくさん心配をかけると思うけど、これからは傍で見守ってください。

最後に三年生のみんなへ。私たちの学年は、一人一人が仲間を大切に思い、楽しいときは一緒に笑い、悩んでいる人には寄り添うことができる、そんな学年でした。それゆえクラスへの愛着も強く、クラス対抗戦となるといつもライバル心を持ち、切磋琢磨しながら盛り上げてきました。どちらが勝ってもお互いを称え合う、そんな温かい姿を見て、私はこの学年で良かったと心から思いました。けんかやすれ違いもあったけど、今となっては良い思い出としてみんなの心に刻まれているはずです。卒業カウントダウンのメッセージには、みんなの温かい気持ちが溢れていて嬉しかったけど、大切な時間が一日一日削られていくのは本当に辛かった。そしてとうとうその数字もゼロになってしまいました。明日からは、自分で選んだ大きなテストと向き合い、一問一問取り組んでいきます。私たちのこれからの人生いっぱいをかけて正解を出す、大きなテストです。卒業生五十九人に、五十九通りの正解があると信じて、これからもひたむきに頑張りを続けましょう。どんなに苦しくても辛くても、この空の下どこかで、同じように頑張っている仲間がいることを思いながら。

名残は尽きませんが、お別れの時間になりました。これから先も、私たちの大好きな神林中学校がたくさん笑顔で溢れ、輝き続けることを心から願い、答辞といたします。

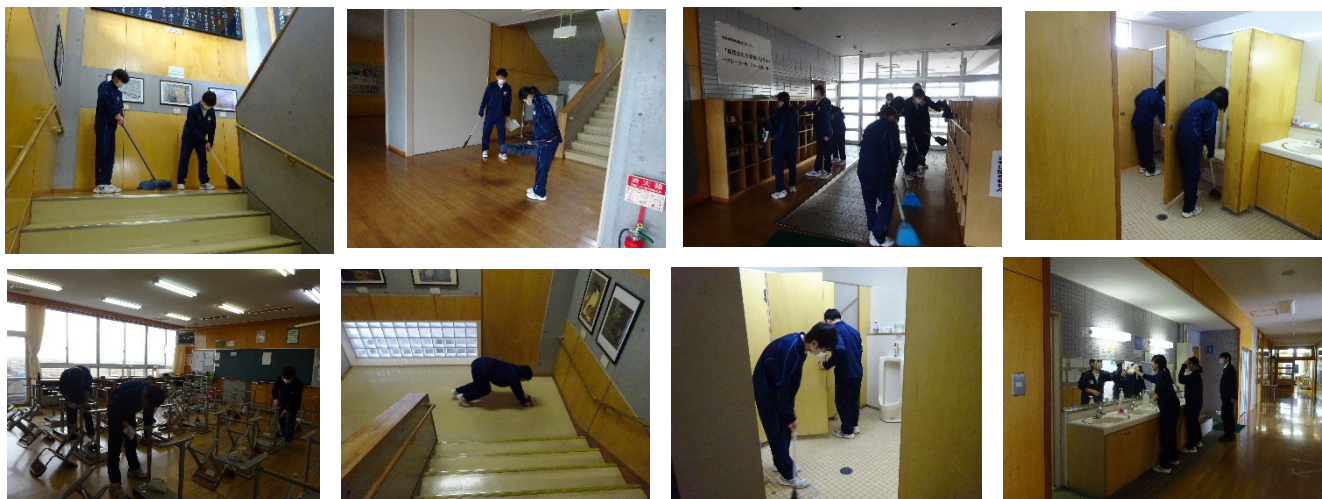
令和五年三月六日 卒業生代表 小野 真白



## 3年生 奉仕作業

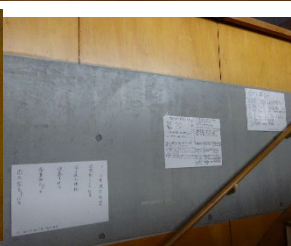
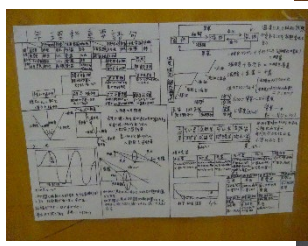
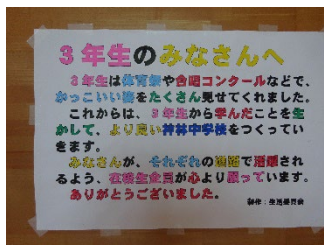
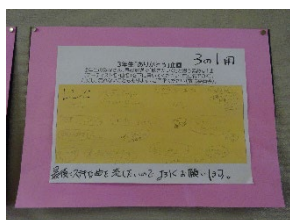
2月24日の5,6時間目に3年生が奉仕作業を行いました。3年間お世話になった校舎に感謝の思いを込めながら、一生懸命に清掃してくれました。生徒玄関、教室、多目的スペース、トイレ、廊下、教室脇階段、体育館脇のトイレや階段等や、机や椅子の脚の裏までもきれいにしてくれました。きっと校舎は喜んでいることと思います。

3年生の皆さんありがとうございました。



## 生徒会専門委員会 3年生ありがとう！企画

生徒会の各専門委員会が3年生にありがとう！の気持ちを込めた企画を考え2月27日～3月3日までをありがとう週間として実行しました。保健委員会は、フッ素のコップに感謝のメッセージを貼りました。放送委員会はインタビューとリクエスト曲を昼の放送で流しました。生活委員会は3年生に昼休みの体育館使用を1週間プレゼント。環境委員会は階段アートで感謝のメッセージを貼りました。図書委員会は、手作りブックカバーをプレゼントしました。学級委員会は1,2年生のありがとうメッセージを言葉の花束にして送りました。学習委員会は、1,2年の学習内容を復習できるように学習内容を掲示しました。どの委員会もそれぞれ3年生を思って企画し実行してくれました。ありがとうございました。



# 部活動地域移行について

## 中学校部活動は「地域クラブ活動」に移行されます。



村上市教育委員会では、文部科学省や新潟県教育委員会の方針を受けて、村上市中学校部活動について令和5年度から地域移行を進めていきます。神林中学校は、令和元年度から地域融合型部活動を進めており、今後は村上市の方針をもとに更に進めていきます。

### 1 文部科学省

平成30年3月に「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」が出され、生徒に望ましいスポーツ環境を構築し、充実させる観点で、学校と地域が協同・融合した形での地域におけるスポーツ環境整備が進められる。令和2年度に「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」が出され、持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革が必要として、休日の部活動の段階的な地域移行と合理的で効率的な部活動の推進という具体的な方策が提示された。休日の移行については令和5年度から段階的に実施となっている。

### 2 新潟県教育委員会

令和5年1月に、「令和5年度から、休日の中学校の部活動に代わる、新しいスポーツ・文化活動環境の整備を進めます。」と明示。現在の部活動の仕組みは、少子化の影響により限界がきており、継続しても希望するスポーツや文化活動の環境を提供することが困難になるため、部活動に代わる新しいスポーツ・文化活動環境を整備していく。現在は、教育委員会を中心として、活動したい生徒すべてが参加可能な、競技力向上のみを目的としない活動機会を確保する「地域スポーツ・文化クラブ活動」の準備を進めている。

### 3 村上市教育委員会

令和5年度初から令和7年度末までの3年間を移行期間とし、地域移行を目指す。移行期は、運営主体となるNPO法人に登録した「地域クラブ活動」団体と学校が連携した「融合型部活動」を新しく立ち上げ、複数校による合同での活動を推進しながら取り組んでいく。令和5年度からは、登録された指導者がいて、「地域クラブ活動」団体が登録され、活動が開始されれば休日のみ等の段階的な移行に移る。平日と休日すべてが移行した段階で完全地域移行となる。令和5年度は、従来通りの「学校部活動」と、平日は部活動で休日は地域クラブ活動の「融合型部活動」と、平日も休日も地域クラブ活動の「完全移行型の活動」が混在する。完全移行した場合、学校部活動は募集停止で廃部となる。

### 4 令和5年度以降の神林中学校の地域移行

神林中学校全体としては、令和6年度からは土日は運動部活動を実施せず、令和7年度には平日も移行できるよう検討を進める。吹奏楽部、文化部も移行スケジュールを検討していく。バスケ、野球、ソフトテニスでは令和5年度から大会も含め、土日は完全に地域で活動する。卓球は令和5年度から土日は地域で活動を行う。バレーボールは令和5年度は複数校の合同練習の機会を重ね、令和6年度から地域の活動として実施する。



## 頑張っています！おめでとう！

第46回 荒川地区卓球大会 中学女子 準優勝 沢田萌々香  
第55回 山北地区卓球大会 中学生女子個人戦 第2位 沢田萌々香  
令和4年度 村上市民卓球大会 女子団体2部 第2位 神林Girls  
令和4年度 新大全国書初大会 佳作 鈴木祉向 木村日茉莉  
第62回 新潟県よい歯の学校・園運動 優秀校 神林中学校  
2022年度 第3回実用技能英語検定合格者  
3級 鈴木果那 4級 片野快信 加藤千織 岸和花 木村日茉莉 近明日天 佐藤結菜  
佐藤果杏奈 高野美優 遠山綾菜 野澤萌那 5級 本間真央



## オープンスクール・1, 2学年懇談会

3月15日は今年度最後のオープンスクールでした。1時間目から5時間目まで自由に授業やその他の活動

を参観していただきました。参観された保護者の皆様からは「楽しそうにクラスみんなでボールを追いかける姿に雰囲気の良いさを感じました。」「がんばって授業を受けている姿が見られました。いつも丁寧なご指導ありがとうございます。」等の感想が寄せられました。放課後は、1学年、2学年の学年懇談会が行われました。学



校生活の様子や授業の取組等の学習についての話があり、2年生は修学旅行の説明もありました。校長からは、来年度以降の部活動地域移行について説明がありました。ご参加くださった保護者の皆様、ありがとうございました。



## 4月の主な予定

- 6日(木) 新任式 1学期始業式
- 7日(金) 入学式 PTA 入会式
- 10日(月) 全校きまり指導  
発育・視力・聴力測定
- 11日(火) 全校朝会
- 12日(水) 生徒会入会式 仮入部(~17日)
- 13日(木) PTA 第1回理事会・評議員会
- 17日(月) 地区生徒会
- 18日(火) 3年生全国学力学習状況調査  
(国・数・英)
- 19日(水) 3年生修学旅行①
- 20日(木) 3年生修学旅行②
- 21日(金) 3年生修学旅行③
- 24日(月) 職員会議
- 25日(火) 部集会 学校運営協議会
- 26日(水) 45分授業 専門委員会
- 28日(金) NRT 学力検査
- 29日(土) 祝 昭和の日
- 30日(日) 授業参観 PTA 総会  
学年懇談会 部活動保護者会

教育広報誌 令和5年(2023年)3月6日発行 vol.54

### かけはし

QRコードから見る



または  
新潟県 かけはし  
で検索

新潟県教育委員会

是非ご覧ください。